令和元年度（平成３０年度対象事業）

教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価報告書

令和元年８月

松茂町教育委員会

はじめに

教育基本法（平成１８年１２月）の改正を受けて、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（地教行法）の一部改正が行われ、平成２０年４月から、「教育委員会は、毎年その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに公表しなければならないこと」とされました。また、点検及び評価を行うにあたっては、教育に関し学識経験を有する者の知見を活用することとしています。

これを受けて松茂町教育委員会でも、事務・事業の点検及び評価を行い、教育行政サービスの資質の向上と効率化の実現、徹底したコスト削減を進めるために、松茂町教育委員会評価システムを導入しています。

平成３０年度においては、平成２９年度対象事業の評価をまとめ９月に議会へ報告するとともに、教育委員会ホームページにより公表を行いました。

令和元年度においても、「松茂町教育振興計画　第２期　『元気！あたたか松茂』教育プラン」に基づき教育行政を進めて参りましたので、平成３０年度と同様に、議会への報告と、ホームページによる公表を行う予定です。

この評価システムを十分活用し、事務の再点検・再確認を行うとともに厳しい財政状況における効果的な町民サービスを実現させ、町民のニーズを高めて行くよう努力していきます。

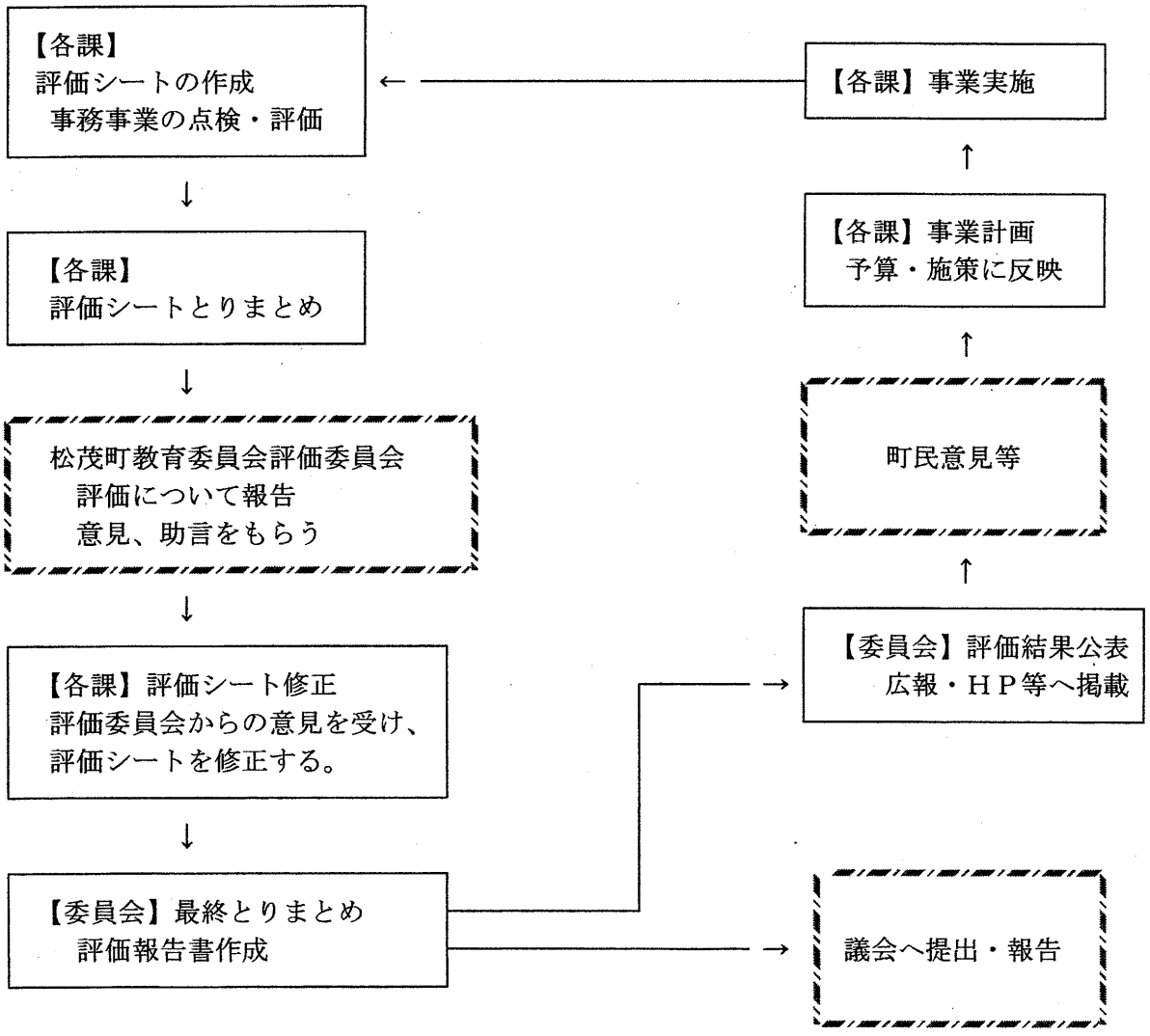
1　松茂町教育委員会評価システムの流れ

評価は各事業等について、所管課が評価シートを作成することから始まり、行政内部による評価を行います。この行政内部による評価内容について、町民や学識経験者で構成される「松茂町教育委員会評価委員会」から評価内容の客観性の検証と、改善に対する助言等をいただきます。

その意見を参考に最終方針を決定し、議会への提出、評価概要や評価表を公表します。

また、公表により町民の皆さんからいただく意見、要望も参考にし、今後の事業計画に反映していきます。以上サイクルを毎年繰り返すことで、事業の改善を進め、町民のニーズに沿った教育行政の運営に努めます。

（1）評価システムの流れ



2　事業の評価

（1）評価単位

①必要性

現在の町民のニーズや社会情勢等に照らして、事業の必要性があるかどうか、状況の変化に対応しているかどうかを評価します。

②有効性

施策や運営方針、町で策定した総合計画の目的の実現にどの程度寄与しているかを評価します。

③経済・効率性

事業コストがかかりすぎていないか、最小の経費で最大の効果を発揮しているか、無駄がないかなど、経済性の面から評価します。また、事務作業に無駄がないか、更なる効率化が図れないかを評価します。

④目標達成度

目標の達成状況を評価します。併せて、目標の設定水準が適切かどうかも検討します。

◎総合評価

事業の各評価項目を勘案し、総合的に評価をおこないます。

総合評価のランク

A	優れた取組が多く、十分成果が上がっている
B	優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている
C	成果が十分上がっておらず、改善の余地が多い
D	成果が殆ど上がっておらず、抜本的な見直しが必要

（2）判定説明及び考察

各評価項目の評価結果の総括や、今後の課題や抱えている問題などについて、事業全体の視点から捉えた総合的なコメントを記入する。特に課題や問題点が明確になるよう留意する。

（3）事業の方向性

上記の評価結果を踏まえて、今後どのように事業を進めるかを選択する。

3　評価結果の公表

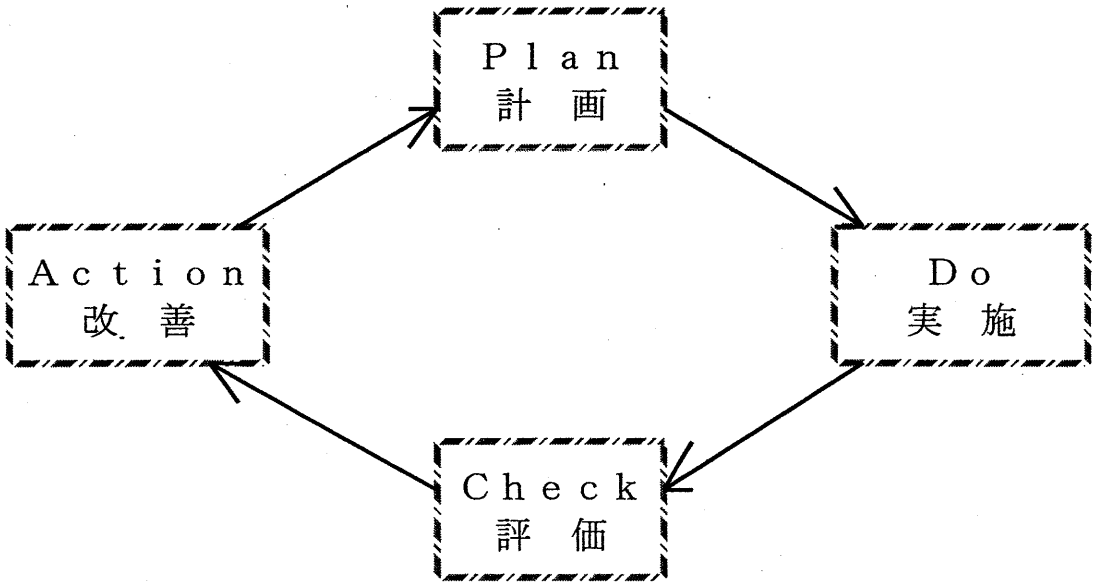
公表に際しては、各課の評価シートを元に総括のページを取りまとめ評価報告書を作成し、議会へ報告します。また、各評価シートはホームページに掲載し、町民からの意見も広く聴取します。

4　ＰＤＣＡサイクルの確立に向けて

教育委員会制度は、首長から独立した合議制の教育委員会が決定する教育行政に関する基本方針のもと、教育長及び事務局が広範かつ専門的な具体の教育行政を執行するものです。

これまでも、施策や事業「計画（Ｐｌａｎ）」するときには、必要な検討を行い、「実施（Ｄｏ）」してきましたが、町民生活を取り巻く環境も大きく変化し、町教育行政に対する町民ニーズも多様化・複雑化する中で、既存の施策や事業の効果が現時点でも十分に現れているか、町民の役に立ち町民満足度を高めているかなどを、その成果を検証して「評価（Ｃｈｅｃｋ）」し、着実に「改善（Ａｃｔｉｏｎ）」していかなければなりません。

予算や人員など経営資源の配分、施策や事業の選択と重点化などの判断を行う上でも、行政評価の成果を十分活用し、改革・改善を進めていくことが望まれます。



5　教育委員会活動報告

1　教育委員会組織

委員の就任状況（平成３０年４月１日～平成３１年３月３１日）

氏　　名	平成３１年３月３１日現在の役職	異　動　状　況
丹羽　敦子	教育長	Ｈ３０．　４．　１　教育長就任
吉田喜久雄	教育長職務代理者	Ｈ２２．１０．　１　教育委員就任 Ｈ２４．１０．　１　委員長職務代理者就任 Ｈ２８．１０．　１　教育長職務代理者就任
三好　増勝	教育委員	Ｈ２０．１０．　１　教育委員就任 Ｈ２２．１０．　１　委員長職務代理者就任 Ｈ２４．１０．　１　委員長就任 (~H28.9.30 旧制度修了のため)
井上　ツヤ	教育委員	Ｈ２３．１０．　１　教育委員就任
濵　　政則	教育委員	Ｈ２５．１０．　１　教育委員就任

2　教育委員会の会議等開催状況

毎月１回定例会を開催し、必要に応じて協議会を開催した。

（１）平成３０年度の会議開催状況

区分＼月	4	5	6	7	8	9	１０	１１	１２	1	2	3	計
定例会	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	１２
協議会			1										1
計	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	１３

3　その他の活動

（１）行事・研修会等への出席

○	４月　２日	松茂町内教職員辞令伝達式	松茂町役場
○	４月　４日	徳島県市町村教育委員等研修会	徳島県立教育総合センター
○	４月１０日	松茂町立小中学校入学式	各小中学校
○	４月１１日	松茂町立幼稚園入園式	各幼稚園
○	４月２５日	徳島県市町村教育委員会定期総会研修会	徳島市役所

○　５月１０日	全国町村教育長会研究大会	東京都
○　５月２５日	喜来幼稚園・小学校学校訪問	喜来幼稚園・小学校
○　５月２５日	板野郡教育委員会連絡協議会総会	藍住町
○　５月２６日	松茂幼小・長原幼小運動会	松茂小学校・長原小学校
○　５月３０日	長原幼稚園・小学校学校訪問	長原幼稚園・小学校
○　５月３１日	松茂幼稚園・小学校、給食センター学校訪問	松茂幼・小学校・給食センター
○　６月１４日	松茂町学校支援地域本部事業実行委員会 ・松茂町学校地域教育推進協議会 第１回	松茂町総合会館
○　６月２２日	松茂町特別支援地域連携協議会	松茂町総合会館
○　６月２５日	松茂中学校学校訪問	松茂中学校
○　７月　５・６日	四国地区人権教育研究大会	香川県
○　７月１２日	松茂町青少年非行防止決起大会	松茂町総合会館
○　７月２６日	松茂町歴史民俗資料館・人形浄瑠璃芝居資料館協議会	歴史民俗資料館
○　８月　１日	松茂町表彰式	松茂町総合会館
○　８月　３日	松茂町少年の日記念大会	松茂町総合会館
○　８月２２日	板野郡教育委員会連絡協議会研修会	北島町
○　８月２４日	四国ブロック町村教育長協議会研修会	高知県
○　８月３０日	松茂町総合教育会議　第１回	松茂町総合会館
○　９月　８日	松茂中学校文化祭	松茂中学校
○　９月１０日	松茂中学校体育祭	松茂中学校
○　９月１５日	松茂町金婚式・敬老会	松茂町総合会館
○　９月１９日	松茂町人権問題講演会	松茂町総合会館
○　９月２９日	喜来幼小学校運動会	喜来小学校
○　９月２９・３０日	スカイフェスタ松茂２０１８	月見ヶ丘海浜公園
○１０月　７日	松茂町民運動会	松茂町運動公園
○１１月　５日	市町村教育委員会等研修会	徳島県立総合教育センター
○１１月１０・１１日	松茂町文化祭	松茂町総合会館
○１１月１７・１８日	全国人権・同和教育研究大会	滋賀県
○１１月２３日	幼稚園パネル展「おいでよみんなの幼稚園」	松茂町総合会館
○１２月　２日	松茂町社会福祉大会	松茂町総合会館
○１２月　６日	人権について考える親子のつどい	松茂町総合会館
○１２月１１日	松茂町学校支援地域本部事業実行委員会 ・松茂町学校地域教育推進協議会 第２回	松茂町総合会館
○１２月２５日	松茂町総合教育会議　第２回	松茂町総合会館
○　１月１３日	松茂町成人式	松茂町総合会館
○　２月　２日	松茂町少年駅伝大会	松茂中央公園
○　２月　６日	松茂町学校支援地域本部事業実行委員会 ・松茂町学校地域教育推進協議会 第３回	松茂町総合会館
○　３月　８日	松茂中学校卒業式	松茂中学校
○　３月１４日	各小学校卒業式	各小学校
○　３月１５日	各幼稚園卒園式	各幼稚園
○　３月１９日	松茂町歴史民俗資料館・人形浄瑠璃芝居資料館協議会	歴史民俗資料館

松茂町教育委員会評価結果一覧表

松茂町教育委員会では、地教行法の一部改正により、平成２０年度から「事務・事業の点検評価」を実施することになりました。

教育行政サービスの資質の向上と効率化の実現等を進めるため、この評価システムを十分活用していきたいと考えております。

■事業の評価結果(平成３０年度実施事業分)

NO	事　業　名	総合評価
1	幼児教育の充実	B
2	道徳・人権・いのちの教育の充実	B
3	いじめ防止と不登校の予防的対応の推進	B
4	キャリア教育の充実	B
5	確かな学力の定着・向上	B
6	教育内容の充実	B
7	教育施設の整備	B
8	教職員の資質向上	B
9	健全な体の育成	B
１０	食育の推進	B
１１	スポーツ活動の活性化	B
１２	人権教育の充実	B
１３	環境教育の充実	B
１４	生涯学習活動の充実	B
１５	生涯学習団体の育成	B
１６	青少年活動の推進	B
１７	家庭・地域・学校・教育委員会の連携	A
１８	文化・芸術活動の推進	B
１９	文化財保護・伝統文化の継承	B

令和元年度

事業点検・評価シート

事務事業名	幼児教育の充実	番　号	1
教育振興計画(第2期)の体系	未来を生き抜く力の育成	地教行法21条中項番号	1，4，5，7，9

事業の目的	子どもの育ちが変化してきている中、未来を生き抜く子どもたちを育成するために、幼児一人ひとりに対応する指導の充実や教育施設の整備、教職員の資質の向上など、教育環境整備を推進する。			
事業内容	教育内容の充実、教育環境の向上、教職員の資質向上、幼児教育における連携強化			
事業の対象	就学前幼児、およびその保護者			
事業コスト	区　分	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	事業費（千円）	51,003	54,047	60,939
	内一般財源（千円）	39,451	38,261	44,394

	担当課	名　称	単　位	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事業実績・成果	幼	園児数	人	246	249	226
	学	加配職員配置	人	8	8	9
	幼	預かり保育人数	人	184	195	175
	学	預かり職員配置	人	11	10	11
	幼	実践的防災教育研究	園	3	3	3
	幼	園外講師活用事業(人形劇観劇・移動動物園、陶芸教室等)	回	6	7	6
	幼	ボランティア活用事業(音楽コンサート等)	回	7	8	11
	幼	幼稚園ボランティア登録	人	25	22	27
	学	一般備品の購入	千円	832	754	1,201
	学	図書備品の購入	千円/冊	364/277	292/220	299/243
	幼	家庭・地域への幼児教育支援(子育て相談)	園	3	3	3
	幼	交流保育	回	23	23	22
	幼	自己評価と関係者評価の実施	園	3	3	3
	学	私立幼稚園就園奨励費	千円/人	76/2	189/5	423/9
	学	私立幼稚園への施設型給付費	千円/人	3,291/10	5,668/13	6,369/17
	図	子どもの読書推進連絡会議	回	1	1	1
	図	ブックスタート事業	人	128	125	130
	図	読書推進事業　(幼児対象)「えいごdeえほんM-Kids」	人/回	193/12	207/12	222/12
	図	(乳幼児対象)「まつぴよおはなし会」	人/回	246/12	348/12	453/12
	歴	藍染め体験(町立幼稚園)	人/園	265/3	262/2	263/3

事業の評価	必要性(町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか。)			
	■ 増　加	□ 横ばい	□ 減　少	□ かなり減少
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)			
	□ 十分寄与する	■ 概ね寄与する	□ あまり寄与していない	□ できていない
	経済・効率性(事務効率化・コスト縮減しているか。)			
	□ 十分できている	■ できている	□ あまり寄与していない	□ できていない
	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)			
	□ 十分できている	■ できている	□ あまり寄与していない	□ できていない
総合評価	B	優れた取り組みがいくつかあり、成果が上がっている。		
判定説明及び考察	幼稚園での交流保育、防災学習をはじめ、図書館でのブックスタート事業、歴史民俗資料館での幼稚園3園の藍染め体験受け入れなど、学校教育、社会教育、両面から、幼児教育の充実に取り組んでおり、今後も継続して行う。			
事業の方向性	■ さらに重点化する □ 現状のまま継続する □ 見直しのうえ継続する □ 事業の縮小を検討する □ 休止・廃止を検討する		評価委員会意見	教育委員会評価のとおりと認める

松茂町教育委員会

令和元年度

事業点検・評価シート

事務事業名	道徳・人権・いのちの教育の充実	番　号	2
教育振興計画(第2期)の体系	未来を生き抜く力の育成	地教行法21条中項番号	5，9

事業の目的	すべての子どもが生命の尊厳を知り、自他への敬愛と協力とを重んじ、公共の精神を持つことができるよう、道徳・人権教育等を推進する。
事業内容	道徳・人権・いのちの教育の推進、人権について考える機会の充実、地域に根ざしたボランティア教育の推進
事業の対象	中学生まで

事業コスト	区　分		平成28年度	平成29年度	平成30年度
	事業費	(千円)	2,701	2,502	2,414
	内一般財源	(千円)	2,501	2,502	2,414

事業実績・成果	担当課	再掲	名　称	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	幼	※	実践的防災教育研究	園	3	3	3
	幼		生命を大切にする気持ちを養う体験	園	3	3	3
	学		人権教育研究指定校受託	園・校	3園・4校	—	-
	学		修学旅行補助	千円/人	2,180/109	2,240/112	2,200/110
	社		人権について考える親子のつどい	人	167	180	162
	学		海岸清掃等ボランティア活動	園・校	全幼・小・中	全幼・小・中	全幼・小・中

事業の評価				
必要性(町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか。)				
	■ 増　加	□ 横ばい	□ 減　少	□ かなり減少
有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)				
	□ 十分寄与する	■ 概ね寄与する	□ あまり寄与していない	□ できていない
経済・効率性(事務効率化・コスト縮減しているか。)				
	□ 十分できている	■ できている	□ あまり寄与していない	□ できていない
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)				
	□ 十分できている	■ できている	□ あまり寄与していない	□ できていない
総合評価	B	優れた取り組みがいくつかあり、成果が上がっている。		
判定説明及び考察	命を軽んじる考えにつながりやすいゲームやテレビ番組が、子どもの身近にあふれている現状から、幼少期から発達段階に合わせ、生命の尊厳について考えるプログラムを提供している。 また、修学旅行費用の補助により、平和学習や、より豊かな体験活動に取り組むことで、生命の尊厳、自他への敬愛の念の育成に努めている。 今後も地域の特性を活かし、優れた人権感覚を持った人材育成に努める。			
事業の方向性	■ さらに重点化する □ 現状のまま継続する □ 見直しのうえ継続する □ 事業の縮小を検討する □ 休止・廃止を検討する		評価委員会意見	教育委員会評価のとおりと認める

松茂町教育委員会

令和元年度

事業点検・評価シート

事務事業名	いじめ防止と不登校の予防的対応の推進	番　号	3
教育振興計画(第2期)の体系	未来を生き抜く力の育成	地教行法21条中項番号	1, 9, 12, 18

事業の目的	すべての児童生徒が安心して学校生活を送れるよう、「松茂町いじめ防止基本方針」に基づいた、いじめの未然防止及び早期発見への取り組みを推進すると共に、不登校児童生徒やその保護者に対するケアの充実を図る。
事業内容	相談活動の充実、関係機関の連携強化、不登校児童生徒への対応、「松茂町いじめ防止基本方針」の推進
事業の対象	中学生まで

事業コスト	区　分	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	事業費　(千円)	8,559	8,681	8,546
	内一般財源　(千円)	5,942	6,271	6,892

事業実績・成果	担当課	再掲	名　称	単　位	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	学		心の教室相談員設置(松茂中)	人	1	1	1
	学		子どもと親の相談員配置(喜来小)	人	1	1	1
	学		Q-Uテスト実施	人/回	2,512/2	2,485/2	2,471/2
	学		教育委員会窓口相談件数	件	40	24	52
	学		適応指導教室設置(指導員設置)(松茂・北島)	人	2	2	2
	学		生徒指導についての連絡会議	回	2	2	8
	社		非行防止決起大会	人/回	123/1	106/1	166/1

事業の評価				
必要性(町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか。)				
	■ 増　加	□ 横ばい	□ 減　少	□ かなり減少
有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)				
	□ 十分寄与する	■ 概ね寄与する	□ あまり寄与していない	□ できていない
経済・効率性(事務効率化・コスト縮減しているか。)				
	□ 十分できている	■ できている	□ あまり寄与していない	□ できていない
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)				
	□ 十分できている	■ できている	□ あまり寄与していない	□ できていない

総合評価		
	B	優れた取り組みがいくつかあり、成果が上がっている。

判定説明及び考察
「適応指導教室」の設置や「心の教室相談員」「子どもと親の相談員」を配置するとともに、県配置のスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーと連携を図り、子どもをとりまく環境改善を図った。 小中学校生徒指導連絡協議会を年2回行っていたが、平成30年度においては、2学期から同内容の協議を校長会を利用し行うことで、情報共有や連携の強化を図った。

事業の方向性		評価委員会意見	
	■ さらに重点化する □ 現状のまま継続する □ 見直しのうえ継続する □ 事業の縮小を検討する □ 休止・廃止を検討する		教育委員会評価のとおりと認める

松茂町教育委員会

令和元年度

事業点検・評価シート

事務事業名	キャリア教育の充実	番　号	4
教育振興計画(第2期)の体系	未来を生き抜く力の育成	地教行法21条中項番号	5

事業の目的	「学びたい」「働きたい」という意欲を高めると共に、将来社会的・職業的に自立し、自分の生き方を実現することができる力を身につけるよう、発達段階に応じたキャリア教育を推進する。
事業内容	キャリア教育の推進、進路指導の充実
事業の対象	学生

事業コスト	区　分	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	事業費（千円）	453	453	457
	内一般財源（千円）	453	453	457

事業実績・成果	担当課	再掲	名　称	単　位	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	図		1日図書館員	人/回	3/1	4/1	7/1
	全		職業体験受け入れ　小学生	人/校数	8/2	3/1	6/2
			中学生	人/校数	4/1	4/1	5/1
			大学生(教育実習)	人/校数	12/4	15/4	10/4
	学		進路指導費補助金	千円	450	450	450

事業の評価				
必要性(町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか。)				
	□ 増　加	■ 横ばい	□ 減　少	□ かなり減少
有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)				
	□ 十分寄与する	■ 概ね寄与する	□ あまり寄与していない	□ できていない
経済・効率性(事務効率化・コスト縮減しているか。)				
	□ 十分できている	■ できている	□ あまり寄与していない	□ できていない
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)				
	□ 十分できている	■ できている	□ あまり寄与していない	□ できていない

総合評価		
	B	優れた取り組みがいくつかあり、成果が上がっている。

判定説明及び考察
小中学校からの要望に対応し、体験学習事業の回数・参加者が増えた。今後も児童生徒の将来につながる体験学習事業を提供したい。 また、博物館実習をはじめとする大学生の実習も受け入れた。 今後も発達段階に応じたキャリア教育を推進する。

事業の方向性		評価委員会意見	
	□ さらに重点化する ■ 現状のまま継続する □ 見直しのうえ継続する □ 事業の縮小を検討する □ 休止・廃止を検討する		教育委員会評価のとおりと認める

松茂町教育委員会

令和元年度

事業点検・評価シート

事務事業名	確かな学力の定着・向上	番　号	5
教育振興計画（第2期）の体系	確かな学力の育成	地教行法21条中項番号	4，5，7

事業の目的	現状に満足せず、子どもたちの可能性をより大きなものにするためにも、さらなる学力定着・向上に向け、その取り組みを推進する。
事業内容	学力調査結果の活用、学習指導要領に基づく学校教育の推進、「確かな学力」の定着、児童生徒の読書活動の充実
事業の対象	中学生まで

事業コスト	区　分	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	事業費（千円）	35,009	38,579	41,161
	内一般財源（千円）	25,129	29,370	32,688

事業実績・成果	担当課	再掲	名　称	単　位	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	学		小学生就学援助費支給	千円/人	8,947/141	10,477/139	12,148/149
	学		中学生就学援助費支給	千円/人	8,571/74	9,179/83	10,133/71
	学		小学校特別支援教育就学奨励費支給	千円/人	221/7	299/7	216/6
	学		中学校特別支援教育就学奨励費支給	千円/人	94/2	202/3	318/5
	図		幼稚園児・児童・生徒等図書館見学受入れ	回	8	8	8
	学		助教員配置	人	2	2	2
	学		特別支援指導員配置	人	3	4	4
	学		日本語講師の配置	人	―	1	1
	学		教育支援委員会開催	回	1	1	1
	図	※	子どもの読書推進連絡会議	回	1	1	1
	学	※	学校図書備品購入　幼稚園	円/冊	363,540/277	291,490/220	299,270/243
			小学校	円/冊	991,228/545	979,584/672	979,341/600
			中学校	円/冊	687,587/310	699,826/415	629,586/321
	学		土曜授業実施	日	各校6回	各校6回	各校3回＋夏休み3日

事業の評価				
必要性（町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか。）				
	■ 増　加	□ 横ばい	□ 減　少	□ かなり減少
有効性（施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。）				
	□ 十分寄与する	■ 概ね寄与する	□ あまり寄与していない	□ できていない
経済・効率性（事務効率化・コスト縮減しているか。）				
	□ 十分できている	■ できている	□ あまり寄与していない	□ できていない
目標達成度（計画通りに目標を達成できたか。）				
	□ 十分できている	■ できている	□ あまり寄与していない	□ できていない

総合評価		
	B	優れた取り組みがいくつかあり、成果が上がっている。

判定説明及び考察
就学援助費をより有効に活用いただけるよう、就学援助費のうちの新入学用品費の支給時期を、前年度末に前倒しする先行支給に変更した。 土曜授業の実施については、実施日の検討を重ね、土曜に3日、夏休み期間中に3日と変更した。令和元年度においては、土曜日実施をとりやめ、2学期開始日を早め、授業時数の確保につなげている。

事業の方向性		評価委員会意見	
	□ さらに重点化する ■ 現状のまま継続する □ 見直しのうえ継続する □ 事業の縮小を検討する □ 休止・廃止を検討する		教育委員会評価のとおりと認める

松茂町教育委員会

令和元年度

事業点検・評価シート

事務事業名	教育内容の充実	番　号	6
教育振興計画（第2期）の体系	確かな学力の育成	地教行法21条中項番号	3，4，5，7

事業の目的	グローバル化やICTの発達等、社会の変化が加速度的に激しくなっている中、子どもたちが未来を生き抜くための多様な力を身につけるため、教科学習以外の多岐にわたる教育を提供する。
事業内容	情報教育の充実、安全教育の充実、国際理解教育の充実、外国語教育の推進、研究指定校の推進、特別支援教育の充実、「相談支援ファイル」の活用、通級指導教室の充実、相談支援体制の充実、特別支援教育への理解促進、海外帰国・外国人児童生徒への支援
事業の対象	幼稚園から中学生まで

事業コスト	区　分	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	事業費（千円）	44,751	46,782	48,511
	内一般財源（千円）	31,521	36,903	40,449

事業実績・成果	担当課	再掲	名　称	単　位	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	学	※	土曜授業実施	日	各校6回	各校6回	各校3回＋夏休み3日
	学		児童生徒派遣費補助金	千円	3,147	3,605	3,701
	学		進路指導費補助金	千円	450	450	450
	学	※	修学旅行補助金	千円/人	2,180/109	2,240/112	2,200/110
	学		準拠教材購入	千円	1,915	2,006	2,921
	学		社会科副読本印刷	千円	0	100	979
	学		国・県・郡研究指定校受託	園・校	のべ3園、6校	1校	1校
	社		幼稚園・小学校英語指導講師配置	人	2	2	2
	学		中学校英語指導講師配置	人	1	1	1
	学		通級指導教室設置	校	1	1	1
	学	※	教育支援委員会開催	回	1	1	1
	学	※	助教員配置	人	2	2	2
	学	※	特別支援指導員の配置	人	3	4	4
	学	※	日本語講師の配置	人	―	1	1
	学		教材備品の整備　合計	千円	7,926	8,201	8,095
			幼稚園	千円	0	0	0
			小学校	千円	3,269	5,960	6,922
			中学校	千円	4,657	2,241	1,172
			再掲　内ICT教育環境整備　合計	千円	3,892	3,521	5,712
			小学校	千円	1,890	3,521	5,643
			中学校	千円	2,002	0	69
	学		特別支援教育地域連携協議会の開催	回	1	2	1

事業の評価				
必要性（町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか。）				
	■ 増　加	□ 横ばい	□ 減　少	□ かなり減少
有効性（施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。）				
	□ 十分寄与する	■ 概ね寄与する	□ あまり寄与していない	□ できていない
経済・効率性（事務効率化・コスト縮減しているか。）				
	□ 十分できている	■ できている	□ あまり寄与していない	□ できていない
目標達成度（計画通りに目標を達成できたか。）				
	□ 十分できている	■ できている	□ あまり寄与していない	□ できていない

総合評価	B	優れた取り組みがいくつかあり、成果が上がっている。
判定説明及び考察	令和2年度から実施される小学校新学習指導要領に対応するため、小学校へのタブレット端末の配置などICT環境整備を行うとともに、教科書改訂にむけ社会科副読本の改訂を行った。 令和元年度においては、中学校の新学習指導要領実施にむけて環境整備を進める。 また、支援員等の処遇改善を行い、人材確保に努めた。	

事業の方向性		評価委員会意見	
	■ さらに重点化する □ 現状のまま継続する □ 見直しのうえ継続する □ 事業の縮小を検討する □ 休止・廃止を検討する		教育委員会評価のとおりと認める

松茂町教育委員会

令和元年度

事業点検・評価シート

事務事業名	教育施設の整備	番　号	7
教育振興計画(第2期)の体系	確かな学力の育成	地教行法21条中項番号	5

事業の目的	すべての園児・児童・生徒が安全に学校生活を送るとともに、情報化社会に対応できる能力を養うための教育を受けることができる環境整備を推進する。			
事業内容	ユニバーサルデザインを取り入れた学校施設の整備、学校設備の環境整備			
事業の対象	幼稚園から中学校まで			
事業コスト	区　分	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	事業費（千円）	40,627	67,628	59,421
	内一般財源（千円）	40,627	67,628	51,983

	担当課	再掲	名　称	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事業実績・成果	学		施設整備費　合計	千円	36,825	63,679	41,884
			幼稚園	千円	2,548	8,507	12,083
			小学校	千円	16,867	47,184	18,831
			中学校	千円	17,410	7,988	10,970
			施設点検	千円	0	0	7,236
	学		一般備品整備費　合計	千円	3,802	3,949	4,590
			幼稚園	千円	807	755	1,201
			小学校	千円	1,615	2,217	1,681
			中学校	千円	1,380	977	1,708
	学	※	教材備品の整備				
		※	再掲　内ICT教育環境整備　合計	千円	3,892	3,521	5,712
		※	小学校	千円	1,890	3,521	5,643
		※	中学校	千円	2,002	0	69

事業の評価	必要性(町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか。)			
	■ 増　加	□ 横ばい	□ 減　少	□ かなり減少
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)			
	□ 十分寄与する	■ 概ね寄与する	□ あまり寄与していない	□ できていない
	経済・効率性(事務効率化・コスト縮減しているか。)			
	□ 十分できている	■ できている	□ あまり寄与していない	□ できていない
	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)			
	□ 十分できている	■ できている	□ あまり寄与していない	□ できていない
総合評価	B	優れた取り組みがいくつかあり、成果が上がっている。		
判定説明及び考察	地震によるブロック塀倒壊の危険を防ぐためブロック塀改修工事(松茂中・松茂小・喜来小)を行った。今後も計画的に改修を行う予定である。 また、教育施設の長寿命化計画策定(令和元年度実施)の準備として、施設の実態把握のために、施設点検を行った。			
事業の方向性	□ さらに重点化する ■ 現状のまま継続する □ 見直しのうえ継続する □ 事業の縮小を検討する □ 休止・廃止を検討する	評価委員会意見	教育委員会評価のとおりと認める	

令和元年度

事業点検・評価シート

事務事業名	教職員の資質向上	番　号	8
教育振興計画（第2期）の体系	確かな学力の育成	地教行法21条中項番号	3，8

事業の目的	子どもの心身の発達に関わり、その人格形成に大きな影響を与える存在である教職員として資質向上するために、研修や他者評価を行う。
事業内容	教職員の適切な配置、学習指導体制の充実、幼稚園・小学校・中学校の連携強化と教職員の指導力向上、人権侵害の防止と早期対応、情報管理体制の強化、学校評価の実施、開かれた教育委員会活動の推進
事業の対象	中学生まで

事業コスト	区　分	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	事業費（千円）	15,219	16,487	16,422
	内一般財源（千円）	5,534	7,487	8,422

事業実績・成果	担当課	再掲	名　称	単　位	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	学	※	助教員配置	人	2	2	2
	学	※	特別支援指導員配置	人	3	4	4
	学幼		職員研修	回	5	6	7
	学		松茂町学校教育研究会補助金（職員研修費充当分のみ）	千円	135	135	235
	幼		自己評価と関係者評価の実施	園	3	3	3

事業の評価				
必要性（町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか。）				
	■ 増　加	□ 横ばい	□ 減　少	□ かなり減少
有効性（施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。）				
	□ 十分寄与する	■ 概ね寄与する	□ あまり寄与していない	□ できていない
経済・効率性（事務効率化・コスト縮減しているか。）				
	□ 十分できている	■ できている	□ あまり寄与していない	□ できていない
目標達成度（計画通りに目標を達成できたか。）				
	□ 十分できている	■ できている	□ あまり寄与していない	□ できていない

総合評価	B	優れた取り組みがいくつかあり、成果が上がっている。

判定説明及び考察	幼稚園、学校教育を中心に町費職員のコンプライアンス研修、特別支援教育研修等を開催した。 また、松茂町学校教育研究会への補助金を増額（100千円）支給し、学習指導要領の改訂に向けての幼・小・中の教職員の研修の充実を図った。

事業の方向性		評価委員会意見	教育委員会評価のとおりと認める
	■ さらに重点化する □ 現状のまま継続する □ 見直しのうえ継続する □ 事業の縮小を検討する □ 休止・廃止を検討する		

松茂町教育委員会

令和元年度

事業点検・評価シート

事務事業名	健全な体の育成	番　号	9
教育振興計画（第2期）の体系	健全な体の育成と体力づくりの推進	地教行法21条中項番号	9，11

事業の目的	食生活の見直しと運動習慣の定着等の子どもの健康課題に加え、ストレスによる心身の不調、アレルギー疾患等への対応と薬物乱用防止など、健全な身体の育成に計画的に取り組むとともに、保護者を含む地域への啓発活動も行う。			
事業内容	小児肥満・生活習慣病の予防、健康診断の実施、いのちの教育の推進、薬物乱用防止教室の推進、体力調査結果の活用、運動習慣の定着と体力向上、部活動の活性化			
事業の対象	幼稚園から中学生まで及びその保護者			
事業コスト	区　分	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	事業費（千円）	4,093	4,183	8,764
	内一般財源（千円）	4,093	4,183	8,764

事業実績・成果	担当課	再掲	名　称	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	学		学校保健委員会開催	回	1	1	1
	給		給食試食会	人／回	84/4	72/3	67/3
	給		アレルギー疾患のある保護者への面談	回	34	22	21
	給		アレルギー対策委員会	回	3	2	3
	学		健康診断　内科	人	1,516	1,485	1,456
			耳鼻科	人	400	411	410
			歯科	人	1,513	1,478	1,458
			眼科	人	538	536	519
			心電図	人	409	433	402
			尿検査	人	1,592	1,597	1,562
	社		体育館無料開放（土曜）	日	37	42	52
	社		松茂町少年駅伝大会（出場選手数）	人/回	148/1	83/1	63/1
	学		中学校部活動講師委嘱	人	8	6	6
	学		学校環境衛生検査実施	園・校	7	7	7
	学		運動・体育指導員の配置	人	―	―	2

事業の評価				
必要性（町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか。）				
	■ 増　加	□ 横ばい	□ 減　少	□ かなり減少
有効性（施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。）				
	□ 十分寄与する	■ 概ね寄与する	□ あまり寄与していない	□ できていない
経済・効率性（事務効率化・コスト縮減しているか。）				
	□ 十分できている	■ できている	□ あまり寄与していない	□ できていない
目標達成度（計画通りに目標を達成できたか。）				
	□ 十分できている	■ できている	□ あまり寄与していない	□ できていない
総合評価	B	優れた取り組みがいくつかあり、成果が上がっている。		
判定説明及び考察	子どもたちの食生活の改善のため、給食センターの栄養教諭による「徳島県学校食育推進パワーアップ作戦」と題した、食育推進活動に取り組んでいる。 また、運動習慣の定着のため、小学校と幼稚園それぞれ1名運動・体育指導員を配置し、体育授業の充実を図った。			
事業の方向性	□ さらに重点化する ■ 現状のまま継続する □ 見直しのうえ継続する □ 事業の縮小を検討する □ 休止・廃止を検討する	評価委員会意見	教育委員会評価のとおりと認める	

松茂町教育委員会

令和元年度

事業点検・評価シート

事務事業名	食育の推進	番　号	10
教育振興計画(第2期)の体系	健全な体の育成と体力づくりの推進	地教行法21条中項番号	9，11

事業の目的	将来にわたって健康に過ごすための自己管理能力と、望ましい食習慣を身につけることができるよう「徳島県学校食育指導プランⅡ」に基づき食育を推進するとともに、安全安心な給食の提供と地産地消を推進する。
事業内容	食育の推進、学校給食の充実
事業の対象	幼稚園から中学生まで及びその保護者

事業コスト	区　分	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	事業費（千円）	153,239	163,759	160,748
	内一般財源（千円）	67,964	78,482	77,676

事業実績・成果	担当課	再掲	名　称	単　位	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	給		学校食育推進委員会	回	1	0	2
	給		献立作成・物資選定委員会	回	1	1	1
	給		給食実施	配食数/実施日	304,856/195	304,677/197	296,989/194
	給	※	給食試食会	人／回	84/4	72/3	67/3
	給		学校給食費	千円	67,964	78,482	77,676
	給		調理加工費	千円	85,275	85,277	83,072
	給		給食費　H26.4改定　幼稚園・小学校	円	270	270	270
			中学校	円	305	305	305
			給食センター	円	325	325	325
	給		弁当の日	回	3	3	3
	給		給食献立コンクール(応募者数)	人	104	174	40
	給		リクエスト給食	食	4	8	8
	給		幼稚園・小学生の給食センター見学受入れ	回	4	4	2
	給		地産地消の推進	%	51.7	51.3	45.3
	給		行事食の推進	日	7	7	7
	給		給食センター施設設備改修	千円	5,766	21,421	19,312
	給		食育についての広報(給食だより等)	回	12	12	22

事業の評価				
	必要性(町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか。)			
	□ 増　加	■ 横ばい	□ 減　少	□ かなり減少
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)			
	□ 十分寄与する	■ 概ね寄与する	□ あまり寄与していない	□ できていない
	経済・効率性(事務効率化・コスト縮減しているか。)			
	□ 十分できている	■ できている	□ あまり寄与していない	□ できていない
	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)			
	□ 十分できている	■ できている	□ あまり寄与していない	□ できていない
総合評価	B	優れた取り組みがいくつかあり、成果が上がっている。		
判定説明及び考察	平成30年度においては、食育についての重要性を高めるため、学校給食推進委員会及び食育についての広報を積極的に行った。 給食における地産地消においても、れんこん・さつまいも・チンゲンサイなどの身近な町内産の野菜に親しむことで望ましい食習慣の定着につなげている。 施設面においては、食缶洗浄機の更新、下処理室自動手洗器の設置など、給食実施における安全性の確保に努めた。			
事業の方向性	□ さらに重点化する ■ 現状のまま継続する □ 見直しのうえ継続する □ 事業の縮小を検討する □ 休止・廃止を検討する		評価委員会意見	教育委員会評価のとおりと認める

松茂町教育委員会

令和元年度

事業点検・評価シート

事務事業名	スポーツ活動の活性化	番　号	11
教育振興計画(第2期)の体系	健全な体の育成と体力づくりの推進	地教行法21条中項番号	9，13

事業の目的	町民それぞれが年齢、趣味、体力に応じた生涯スポーツ活動を行うことができる環境づくりを目的とする。
事業内容	スポーツ教室の開催、スポーツ団体への支援、多世代参加型スポーツ活動の推進、ニュースポーツの普及、各種競技大会の支援、健康増進のためのスポーツレクリエーションの推進、施設の計画的な改修、指導者・ボランティアの育成
事業の対象	全町民

事業コスト	区　分	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	事業費（千円）	35,197	44,271	10,258
	内一般財源（千円）	11,947	44,271	10,258

事業実績・成果	担当課	再掲	名　称	単　位	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	社		水泳教室	人/回	158/6	153/6	117/6
	社		町民運動会（競技人数のべ）	人/回	2,500/1	2,500/1	2,500/1
	社	※	松茂町少年駅伝大会（出場選手数）	人/回	148/1	83/1	63/1
	社		体育協会　補助金	千円	1,410	1410	1410
			加入状況	人/部	350/10	346/10	386/10
	社		スポーツクラブ　補助金	千円	195	195	195
			加入状況	人/部	174/5	210/5	175/5
	社		スポーツ少年団　補助金	千円	324	324	324
			加入状況（団員/指導者/クラブ）	人/人/部	158/48/10	167/54/10	173/49/10
	社		スポーツクラブチャレンジ大会	人/回	84/1	116/1	170/1
	社		スポーツ体験DAY	人/回	109/1	103/1	127/1
	社		歩け歩け大会	人/回	98/1	105/1	94/1
	社		体育館整備費	千円	29,220	1,564	429
	社		公園体育施設整備費	千円	893	34,636	1,290
	社		体育備品購入	千円	0	2,723	2,768
	社		社会体育全国大会等出場補助	千円/件	75/1	285/1	585/2
	社		体育優秀選手表彰	人	44	62	99

事業の評価				
必要性（町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか。）				
	■ 増　加	□ 横ばい	□ 減　少	□ かなり減少
有効性（施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。）				
	□ 十分寄与する	■ 概ね寄与する	□ あまり寄与していない	□ できていない
経済・効率性（事務効率化・コスト縮減しているか。）				
	□ 十分できている	■ できている	□ あまり寄与していない	□ できていない
目標達成度（計画通りに目標を達成できたか。）				
	□ 十分できている	■ できている	□ あまり寄与していない	□ できていない
総合評価	B	優れた取り組みがいくつかあり、成果があがっている。		
判定説明及び考察	平成30年度は、公園施設遊具の修繕・撤去や総合体育館トレーニング室の器具を新調などを行い、体育施設の利用に際しての安全性を高めることができた。スポーツイベント等は概ね例年通りの実施であったが、参加者は増加傾向にある。今後は、指定管理者による新規事業により、事業の更なる充実を図りたい。			

事業の方向性		評価委員会意見	
	■ さらに重点化する □ 現状のまま継続する □ 見直しのうえ継続する □ 事業の縮小を検討する □ 休止・廃止を検討する		教育委員会評価のとおりと認める

松茂町教育委員会

令和元年度

事業点検・評価シート

事務事業名	人権教育の充実	番　号	12
教育振興計画(第2期)の体系	こころ豊かな人間性の育成	地教行法21条中項番号	5, 12, 18

事業の目的	一人ひとりの町民が人権問題への理解を深め、人権が守られる社会をつくるために、人権意識の向上を目指す。			
事業内容	全町的な人権教育の推進			
事業の対象	全町民			
事業コスト	区　分	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	事業費（千円）	2,004	2,052	2,014
	内一般財源（千円）	2,004	2,052	2,014

	担当課	再掲	名　称	単　位	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事業実績・成果	社		松茂町人権問題講演会	人/回	51/1	78/1	86/1
	社	※	人権について考える親子の集い	人/回	167/1	180/1	162/1
	社		人権教育推進協議会　補助金	千円	1,400	1,400	1,400
	社		企業・職域合同人権啓発研修会	人/回	227/5	202/5	217/5
	社		各種人権教育講座 PTA対象	人/回	22/2	46/2	38/2
			生涯学習講座受講生	人/回	64/1	72/1	89/1
			企業等出張講座	人/回	0	0	0
			現地研修会	人/回	15/1	11/1	0
	社		各種人権教育研修・大会等参加	人/回	44/13	44/13	127/13
	社		人権啓発・広報活動 広報まつしげ	部/回	36,000/6	36,000/6	36,000/6
			リーフレット折込	部/回	6,000/1	6,000/1	6,000/1
			人権啓発冊子折込	部/回	5,000/1	5,000/1	4,440/1
	学	※	人権教育研究指定校受託	園・校	3園・4校	—	—

事業の評価	必要性（町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか。）			
	□ 増　加	■ 横ばい	□ 減　少	□ かなり減少
	有効性（施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。）			
	□ 十分寄与する	■ 概ね寄与する	□ あまり寄与していない	□ できていない
	経済・効率性（事務効率化・コスト縮減しているか。）			
	□ 十分できている	■ できている	□ あまり寄与していない	□ できていない
	目標達成度（計画通りに目標を達成できたか。）			
	□ 十分できている	■ できている	□ あまり寄与していない	□ できていない
総合評価	B	優れた取り組みがいくつかあり、成果があがっている。		
判定説明及び考察	従来どおりの取り組みであるが、一定の成果はあげている。人権問題に関しては継続して啓発・研修を続けなければならない。問題の多様化についても、研修会のテーマを年度毎に見直していく。			
事業の方向性	□ さらに重点化する ■ 現状のまま継続する □ 見直しのうえ継続する □ 事業の縮小を検討する □ 休止・廃止を検討する		評価委員会意見	教育委員会評価のとおりと認める

松茂町教育委員会

令和元年度

事業点検・評価シート

事務事業名	環境教育の充実	番　号	13
教育振興計画（第2期）の体系	こころ豊かな人間性の育成	地教行法21条中項番号	5，19

事業の目的	すべての町民が環境に対して高い意識、関心を持てるよう、環境教育の推進を図る。
事業内容	環境教育の推進、「新　学校版ISO」への移行、環境教育における地域の連携、県の環境教育との連携強化
事業の対象	全町民

事業コスト	区　分	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	事業費（千円）	137	164	166
	内一般財源（千円）	137	164	166

事業実績・成果	担当課	再掲	名　称	単　位	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	社		子ども自然探検隊　野鳥観察	人/回	25/1	26/1	29/1
	社		海辺の生き物	人/回	48/1	58/1	42/1
	社		小川の生き物	人/回	78/1	50/1	43/1
	社		冬の野草と七草がゆ体験	人/回	25/1	26/1	15/1
	社		天文教室	人/回	110/2	110/2	68/2
	図		雑誌リサイクル	冊/人/日	949/288/34	855/241/48	903/259/48
	学		県等他機関との連携　清掃活動	校	4	4	3
			施設見学	校	3	2	2

事業の評価				
必要性（町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか。）				
	□ 増　加	■ 横ばい	□ 減　少	□ かなり減少
有効性（施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。）				
	□ 十分寄与する	■ 概ね寄与する	□ あまり寄与していない	□ できていない
経済・効率性（事務効率化・コスト縮減しているか。）				
	□ 十分できている	■ できている	□ あまり寄与していない	□ できていない
目標達成度（計画通りに目標を達成できたか。）				
	□ 十分できている	■ できている	□ あまり寄与していない	□ できていない

総合評価		
	B	優れた取り組みがいくつかあり、成果があがっている。

判定説明及び考察	
	一部参加者が減少傾向にある教室もあるが、自然と触れあうことを通して、松茂の豊かな自然環境について学習する機会が減少する中で、どの教室も一定のニーズはある。今後とも多くの方に参加していただけるように、学校等と連携して募集・実施をしていく。

事業の方向性		評価委員会意見	
	□ さらに重点化する ■ 現状のまま継続する □ 見直しのうえ継続する □ 事業の縮小を検討する □ 休止・廃止を検討する		教育委員会評価のとおりと認める

松茂町教育委員会

令和元年度

事業点検・評価シート

事務事業名	生涯学習活動の充実	番　号	14
教育振興計画(第2期)の体系	こころ豊かな人間性の育成	地教行法21条中項番号	7，12

事業の目的	町民が心豊かに生きがいのある充実した生活を営み、活力に満ちた地域社会を形成するため、だれもが学べる学習環境の整備を図り、自発的な学習活動への支援に努める。
事業内容	社会教育事業の充実、情報発信の充実、拠点施設の機能充実、文化・芸術活動の推進、松茂町子どもの読書活動推進計画(第3次)の推進
事業の対象	全町民

事業コスト	区　分	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	事業費　(千円)	16,863	18,012	19,766
	内一般財源　(千円)	16,863	18,012	19,766

事業実績・成果	担当課	再掲	名　称	単　位	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	社		生涯学習講座【通年】(英会話)	人/回	738/70	611/66	620/66
	社		生涯学習講座【通年】(趣味・生活)	人/回	508/40	855/60	1,039/70
	図		図書館講座【通年】(大学連携講座)	人/回	169/6	125/6	101/5
	図		図書館講座【単発】(教養等)	人/回	40/1	40/1	40/1
	歴		資料館講座(古文書)	人/回	75/10	68/13	55/10
	図		読書振興行事(原画展)	日/回	30/1	30/1	30/1
	図		図書館　入館者数	人	106,689	105,186	104,094
			登録者数(累計・個人)	人	11,315	11,592	11,845
			個人貸出数	冊	129,848	118,280	118,336
	歴		歴史民俗資料館　入館者数	人	19,904	17,860	14,962
	図		図書館広報活動(館外向・新刊案内)	回	64	64	64
	図		館報「ふみよむひろば」発行	冊/回	1,700/1	1,500/1	1,500/1
	図	※	ブックスタート事業	人	128	125	130
	社		総合会館整備費	千円	280	934	888
	図		図書館施設整備費	千円	603	1,258	1,980
	図		図書館購入資料　総数	千円/点	7,140/5,218	7,110/4,971	7,185/4,971
			図書	千円/冊	5,379/3,420	5,379/3,186	5,379/3,378
			視聴覚資料	千円/点	621/96	602/92	620/93
			逐次刊行物	千円/冊	1,140/1,702	1,129/1,693	1,186/1,716
	図		図書館所蔵資料　総数	点	121,776	125,328	129,742
			図書	冊	119,903	123,364	127,685
			視聴覚資料	点	1,873	1,964	2,057
	歴		資料館施設整備費	千円	1,027	905	1,758
	図	※	子どもの読書推進連絡会議	回	1	1	1

事業の評価				
	必要性(町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか。)			
	□ 増　加	■ 横ばい	□ 減　少	□ かなり減少
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)			
	□ 十分寄与する	■ 概ね寄与する	□ あまり寄与していない	□ できていない
	経済・効率性(事務効率化・コスト縮減しているか。)			
	□ 十分できている	■ できている	□ あまり寄与していない	□ できていない
	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)			
	□ 十分できている	■ できている	□ あまり寄与していない	□ できていない
総合評価	B	優れた取り組みがいくつかあり、成果があがっている。		
判定説明及び考察	引き続き、町民ニーズをとらえ、利用・貸出の増加につなげていきたい。 町外小学校の社会科見学，遠足などの増加傾向にあるが、図書館・歴史民俗資料館ともに入館者増にはさらなる工夫が必要である。			
事業の方向性	□ さらに重点化する ■ 現状のまま継続する □ 見直しのうえ継続する □ 事業の縮小を検討する □ 休止・廃止を検討する		評価委員会意見	教育委員会評価のとおりと認める

松茂町教育委員会

令和元年度

事業点検・評価シート

事務事業名	生涯学習団体の育成	番　号	15
教育振興計画(第2期)の体系	こころ豊かな人間性の育成	地教行法21条中項番号	12，13

事業の目的	生涯学習団体の自主的な活動を支援することを目的とする。
事業内容	指導者・リーダーの育成・確保、活力とやすらぎのあるまちづくりの推進、大学との連携強化、人権教育体制の充実
事業の対象	町内生涯学習団体

事業コスト	区　分	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	事業費（千円）	2,046	1,831	1,831
	内一般財源（千円）	2,046	1,831	1,831

事業実績・成果	組当課	再掲	名　称		単　位	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	社		文化協会	補助金	千円	1,000	1,000	1,000
	社			加入状況	人/団体	343/43	348/42	327/40
	社		花づくり会	補助金	千円	485	270	270
	社			加入状況	人	32	32	29
	社		子ども会連合会	補助金	千円	345	345	345
	社			加入状況	人/団体	145/8	143/7	139/7
	歴		ふれあい座	補助金	千円	144	144	144
	歴			加入状況	人	14	13	13
	歴		二上がり音頭保存会	補助金	千円	72	72	72
	歴			加入状況	人	37	37	37

事業の評価				
必要性（町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか。）				
	□ 増　加	■ 横ばい	□ 減　少	□ かなり減少
有効性（施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。）				
	□ 十分寄与する	■ 概ね寄与する	□ あまり寄与していない	□ できていない
経済・効率性（事務効率化・コスト縮減しているか。）				
	□ 十分できている	■ できている	□ あまり寄与していない	□ できていない
目標達成度（計画通りに目標を達成できたか。）				
	□ 十分できている	■ できている	□ あまり寄与していない	□ できていない

総合評価	B	優れた取り組みがいくつかあり、成果があがっている。

判定説明及び考察	ほぼ例年並みの水準となっている。減少傾向にあった子ども会数に関しても歯止めがかかり、現状残っている単位子ども会については活動も活発であり、連合会事業を継続したい。また、文化協会については、ほぼ横ばい傾向であるがほぼ毎年新規加入があるので、脱退せず継続して活動できるようサポートすることで会員数の増加が期待できると考えている。保存団体会員の高齢化が著しく若手会員の獲得が急務である。 保存活動については、継続して行えている。

事業の方向性	□ さらに重点化する ■ 現状のまま継続する □ 見直しのうえ継続する □ 事業の縮小を検討する □ 休止・廃止を検討する	評価委員会意見	教育委員会評価のとおりと認める

松茂町教育委員会

令和元年度

事業点検・評価シート

事務事業名	青少年活動の推進	番　号	16
教育振興計画(第2期)の体系	こころ豊かな人間性の育成	地教行法21条中項番号	12

事業の目的	子どもを対象とした体験型学習の充実、地域ぐるみの健全育成活動の推進により、子どもたちがこころ豊かに成長することを目指す。			
事業内容	地域ぐるみの健全育成運動の展開、生涯学習における人権教育の推進、子ども体験活動の充実、読書週間の定着			
事業の対象	全町民			
事業コスト	区　分	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	事業費　(千円)	1,144	1,121	1,170
	内一般財源　(千円)	1,144	1,121	1,170

	担当課	再掲	名　称	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事業実績・成果	社		青少年健全育成町民会議　補助金	千円	500	500	500
	社	※	青少年非行防止決起大会	人/回	123/1	106/1	166/1
	社		「少年の日」記念大会	人/回	141/1	133/1	142/1
	社		子どもカルチャー教室	人/回	478/60	434/60	460/60
	社		親子ものづくり教室	人/回	374/13	335/13	302/13
	社	※	子ども自然探検隊	人/回	286/6	258/6	197/6
	社		ボーイスカウト板野第1団　補助金	千円	45	45	45
	社		加入状況	人	32	30	35

事業の評価	必要性(町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか。)			
	■ 増　加	□ 横ばい	□ 減　少	□ かなり減少
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)			
	□ 十分寄与する	■ 概ね寄与する	□ あまり寄与していない	□ できていない
	経済・効率性(事務効率化・コスト縮減しているか。)			
	□ 十分できている	■ できている	□ あまり寄与していない	□ できていない
	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)			
	□ 十分できている	■ できている	□ あまり寄与していない	□ できていない
総合評価	B	優れた取り組みがいくつかあり、成果があがっている。		
判定説明及び考察	健全育成活動は青少年健全育成町民会議が事業主体となり、例年どおりの実施となった。子どもの体験活動は年によって参加者が変動するが、ニーズはやはり高いものである。今後も指導者の確保を図るとともに、活動内容の充実に努めたい。			
事業の方向性	□ さらに重点化する ■ 現状のまま継続する □ 見直しのうえ継続する □ 事業の縮小を検討する □ 休止・廃止を検討する	評価委員会意見	教育委員会評価のとおりと認める	

松茂町教育委員会

令和元年度

事業点検・評価シート

事務事業名	家庭・地域・学校・教育委員会の連携	番　号	17
教育振興計画(第2期)の体系	松茂町を愛するこころの育成	地教行法21条中項番号	2,7,9,12,18

事業の目的	家庭・地域・学校・教育委員会が連携を密にすることにより、子どもを含めた全町民が地元への愛着や誇りを持ち、地域の発展に寄与するよう、地域ぐるみの活動を推進する。
事業内容	施設開放の推進、学校支援地域本部の機能強化、家庭教育の充実、「早寝早起き朝ごはん運動」の推進、PTAとの連携・協働の推進、郷土に誇りを感じる教育の推進、社会教育施設と学校教育施設との連携の充実、不審者対策の推進、子ども体験活動の充実と、放課後子ども教室の開設
事業の対象	全町民

事業コスト	区　分	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	事業費（千円）	1,529	1,528	1,560
	内一般財源（千円）	1,517	1,516	1,548

事業実績・成果	担当課	再掲	名　称	単　位	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	社		学校施設開放　体育館	施設	4	4	4
			グラウンド	施設	5	5	5
	社		学校支援地域本部事業実行委員会	人/回	54/3	55/3	54/3
	社		学校地域教育推進協議会	人/回	64/3	64/3	56/3
	社		人材バンク登録者数	人/団体	128/25	101/25	124/25
	社		学校支援ボランティア登録者数	人	122	130	120
	図		図書館業務支援ボランティア登録者数	人	41	40	38
	歴		歴史民俗資料館業務支援ボランティア登録者数	人	46	43	38
	給		学校食育推進委員会	回	1	0	2
	社		青少年健全育成啓発チラシ	回	3	3	3
	社		家庭教育学級	人/回	227/2	238/2	162/1
	社		花の苗の無料配布	人/回	473/2	436/2	474/2
	社		PTA連絡協議会補助金	千円	115	115	115
	社	※	子ども自然探検隊	人/回	286/6	258/6	197/6
	社	※	子どもカルチャー教室	人/回	478/60	434/60	460/60
	社	※	親子ものづくり教室	人/回	374/13	335/13	302/13
	図	※	子どもの読書推進連絡会議	人/回	14/1	11/1	12/1
	図		図書館連携型展示・作品展等	回	5	5	5
	図		図書館学校等団体貸出冊数	冊/団体数	1839/17	970/18	1,309/18
	歴		小・中学校 総合学習支援（人形浄瑠璃出前公演）	回	1	1	1
			（藍染め体験）	人/校	185/4	153/4	163/4
			（社会科見学）	回	6	4	町内4,町外4
	幼		幼稚園地域連携事業　（3園合同パネル展）	人/日	332/1	335/1	270/0.5
	学		下校時安全パトロール員	時間	352	373	405
	学		スクールガードリーダー指導	回	各小学校6回	各小学校6回	各小学校6回

事業の評価				
必要性（町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか。）				
	■ 増　加	□ 横ばい	□ 減　少	□ かなり減少
有効性（施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。）				
	■ 十分寄与する	□ 概ね寄与する	□ あまり寄与していない	□ できていない
経済・効率性（事務効率化・コスト縮減しているか。）				
	■ 十分できている	□ できている	□ あまり寄与していない	□ できていない
目標達成度（計画通りに目標を達成できたか。）				
	■ 十分できている	□ できている	□ あまり寄与していない	□ できていない

総合評価	A	優れた取り組みが多く、十分成果があがっている。
判定説明及び考察	各種活動は年によって参加者の変動はあるものの、ニーズが高く事業を継続して行いたい。 小・中学校の総合学習支援を継続して行った。 近年は、町外からの社会科見学も増加しており、学校教育への需要が高まっている。	

事業の方向性		評価委員会意見	
	□ さらに重点化する ■ 現状のまま継続する □ 見直しのうえ継続する □ 事業の縮小を検討する □ 休止・廃止を検討する		教育委員会評価のとおりと認める

松茂町教育委員会

令和元年度

事業点検・評価シート

事務事業名	文化・芸術活動の推進	番　号	18
教育振興計画(第2期)の体系	松茂町を愛するこころの育成	地教行法21条中項番号	12，18

事業の目的	個性あふれる文化の創造に向け、住民主体の芸術・文化活動を推進する。
事業内容	文化団体の支援、活動の場の提供、文芸活動の推進、発表の場の提供、学校における文化・芸術活動の推進、学校の部活動の活性化、文化・芸術に関わる講座・教室の充実
事業の対象	全町民

事業コスト	区　分	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	事業費（千円）	3,313	3,272	3,349
	内一般財源（千円）	2,833	2,792	2,749

事業実績・成果	担当課	再掲	名　称	単　位	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	社	※	文化協会　補助金	千円	1,000	1,000	1,000
			加入状況	人/団体	343/43	348/42	327/40
	社		社会教育施設貸出　総合会館	件	0	1,547	1,510
	歴		資料館	件	868	330	435
	図		図書館	件	0	0	1
	社		文化活動に係る全国大会等出場補助	件	0	0	0
	社		松茂町文化祭　作品出展者数	人/団体	795/34	645/34	879/38
	社		芸能出演者数	人/団体	62/12	57/12	83/15
	社		小・中連合音楽会(観覧者数)	人	180	200	200
	社	※	子どもカルチャー教室　茶道	人/回	92/10	86/10	108/10
			華道	人/回	101/10	101/10	83/10
			百人一首	人/回	47/10	52/10	58/10
	歴		まつしげ人形劇フェスティバル	人/日	1,069/6	733/7	910/7
	学		ミュージカル鑑賞事業	回	1	1	1
	歴		藍染め体験(一般・町外)	人/回	338/39	188/35	198/36
	歴		藍染め体験(わくわく藍染め体験)	人/日	51/2	52/2	49/2
	歴		藍染め教室	人/回	30/7	18/6	36/9
	歴		陶芸教室(一般・子ども)	人/回	113/20	97/20	103/20
	社		広報活動(文化協会)	回	0	0	0
	図	※	館報「ふみよむひろば」発行	冊/回	1,700/1	1,500/1	1,500/1

事業の評価				
必要性(町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか。)				
	□ 増　加	■ 横ばい	□ 減　少	□ かなり減少
有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)				
	□ 十分寄与する	■ 概ね寄与する	□ あまり寄与していない	□ できていない
経済・効率性(事務効率化・コスト縮減しているか。)				
	□ 十分できている	■ できている	□ あまり寄与していない	□ できていない
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)				
	□ 十分できている	■ できている	□ あまり寄与していない	□ できていない

総合評価	B	優れた取り組みがいくつかあり、成果があがっている。
判定説明及び考察	多くの事業で参加者が増加しており、特に文化祭では作品出展者・芸能大会出演者ともに大きく増加している。 今後は参加者だけでなく、観覧者の増加も見込めるよう活動の活性化を図りたい。 講座内容の見直しを行い、受講生の増加に努めていく。	

事業の方向性		評価委員会意見	教育委員会評価のとおりと認める
	□ さらに重点化する ■ 現状のまま継続する □ 見直しのうえ継続する □ 事業の縮小を検討する □ 休止・廃止を検討する		

松茂町教育委員会

令和元年度

事業点検・評価シート

事務事業名	文化財保護・伝統文化の継承	番　号	19
教育振興計画(第2期)の体系	松茂町を愛するこころの育成	地教行法21条中項番号	14

事業の目的	歴史民俗資料館・人形浄瑠璃芝居資料館を拠点に本町の貴重な文化財や歴史遺産等の調査・保護を図り、地域に根ざした伝統文化の継承・普及を進める
事業内容	文化財・伝統文化の保護・継承と埋蔵文化財行政の充実、天然記念物(自然環境)学習の推進
事業の対象	全町民

事業コスト	区　分	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	事業費　(千円)	3,479	2,829	2,636
	内一般財源　(千円)	3,479	2,780	2,592

事業実績・成果	担当課	再掲	名　称	単　位	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	歴		寄贈文化財資料(主なもの)	件	5	2	2
	歴		燻蒸委託業務	千円	2,679	2,020	1,836
	歴		各種資料のデジタル化・データベース作成	件	12	0	0
	歴		収蔵資料の特別利用申請	件	21	16	11
	歴		現代資料(町誌関連)収集	件	1	1	1
	歴		旧村役人宅寄贈資料整理	件	1	1	1
	歴		学芸員のテーマ研究	件	2	2	2
	歴	※	資料館入館者数	人	19,904	17,860	14,962
	歴		資料館広報活動	回	100	100	87
	歴		企画展示開催	回	6	6	5
	歴		歴史(郷土史)をテーマにした講演・講座	人/回	98/6	27/1	34/1
	歴		文化財パトロール	回	4	5	5
	歴	※	ふれあい座助成(国指定重要無形民俗文化財)	千円	144	144	144
	歴	※	二上り音頭助成　(町指定無形民俗文化財)	千円	72	72	72
	歴		埋蔵文化財行政事務委託	千円	486	495	497
	歴		無形文化財等(ふれあい座)上演事業	人/回	537/16	588/17	617/14
	幼		阿波踊り教室	人	196	103	117

事業の評価				
必要性(町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか。)				
	□ 増　加	■ 横ばい	□ 減　少	□ かなり減少
有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)				
	□ 十分寄与する	■ 概ね寄与する	□ あまり寄与していない	□ できていない
経済・効率性(事務効率化・コスト縮減しているか。)				
	□ 十分できている	■ できている	□ あまり寄与していない	□ できていない
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)				
	□ 十分できている	■ できている	□ あまり寄与していない	□ できていない

総合評価	B	優れた取り組みがいくつかあり、成果があがっている。
判定説明及び考察	資料館入館者数の減少については、講座・企画展の内容を見直していく。 資料の保存管理は適切に行っている。	

事業の方向性		評価委員会意見	
	□ さらに重点化する □ 現状のまま継続する ■ 見直しのうえ継続する □ 事業の縮小を検討する □ 休止・廃止を検討する		教育委員会評価のとおりと認める

松茂町教育委員会